

經濟技術協力国別資料シリーズ

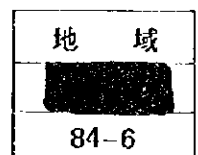
# 象牙海岸

RÉPUBLIQUE DE CÔTE D'IVOIRE

1984年3月

国際協力事業団  
企画部地域課

515  
36  
PLC



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 8. 29	515
	36
登録No. 10630	PLC

## 作成にあたって

この経済技術協力国別資料シリーズは、我が国を始め、主要援助供与諸国及び国際機関が、技術協力、経済協力として1981年以後実施済の、あるいは実施中のプロジェクトを調査しまとめたものです。

それぞれの被援助国に対し、各援助供与国及び各援助機関が、どのような方針に基づいて援助を実施してきたかを明らかにしようと試みました。また、被援助国側が各援助供与国や国際機関別にどのような援助のあり方を期待しているかを探り、ひいては我が国の援助の方向性を考える目的の下に本シリーズを作成しました。

作成にあたっては、外務省、海外経済協力基金、JICA 海外事務所、専門家等の大勢の方々の御協力を得ました。ここに、本シリーズ作成に御協力下さった皆様に改めて謝意を申し上げますと共に、本誌が関係各位の業務の一助になることを願って止みません。

昭和59年3月

国際協力事業団

企画部長

堀内伸介

JICA LIBRARY



1033419[1]

● 国際機関名略称

- AfDB - African Development Bank
- AsDB - Asian Development Bank
- EEC - European Economic Community
- FAO - Food and Agriculture Organization
- IBRD - International Bank for Reconstruction and Development
- IDA - International Development Association
- IEA - International Energy Agency
- IFAD - International Fund for Agricultural Development
- ILO - International Labour Organization
- ITC - International Trade Centre
- ITU - International Telecommunication Union
- OECD - Organization for Economic Cooperation and Development
- OPEC - Organization of Petroleum Exporting Countries
- UNCTAD - United Nations Conference on Trade and Development
- UNDTCD - United Nations Department of Technical Cooperation for Development
- UNDP - United Nations Development Program
- UNESCO - United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
- UNFPA - United Nations Fund for Population Activities
- UNHCR - Office of the United Nations High Commissioner for Refugees
- UNICEF - United Nations Children's Fund
- UNIDO - United Nations Industrial Development Organization
- WFP - World Food Program
- WHO - World Health Organization
- WMO - World Meteorological Organization

# 「象牙海岸」に対する 経済・技術協力の概要

## 目 次

### 1 経済・社会開発計画概要

- 1-1 対象国の概要/1
- 1-2 開発計画概要/3
- 1-3 開発予算/4

### 2 経済・技術協力の推移

- 2-1 1970年代における援助実績の推移/5
- 2-2 最近の動向(1981, 1982年実績)/5

### 3 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

- 3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴/9
- 3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要/16

### 4 我が国の経済・技術協力実施状況

- 4-1 我が国の援助の特徴/23
- 4-2 分野別経済・技術協力実施状況/26

# 1 経済・社会開発計画概要

## 1-1 象牙海岸の概要

- 面積 322千km<sup>2</sup> (日本の約0.9倍)
- 人口 (1982年) 8,800,000人
- 政体 共和制  
元首: フェリックスウフェ・ボワニ大統領(1980, 10.6.~任期5年)  
(同大統領5選)
- 宗教 伝統的部族信仰(65%), イスラム教(23%), キリスト教(12%)
- 言語 公用語はフランス語。  
主な部族語はアイウラ語, バウレ語, ベテ語。
- 部族 約60部族; 北部セスフォ族, 中部バウレ族, 西部グロ族, グン族, 南部ア  
チュ族, ベテ族, ゲレ族。
- 教育 初等就学率77% (1978年)。大学は国立アビジャン大学。
- 貿易 (1981年)  
輸出 2,586百万ドル  
フランス, オランダ, アメリカ, イタリア, 西ドイツ  
輸入 2,434百万ドル  
フランス, アメリカ, 日本, 西ドイツ, イタリア
- 通貨準備高 (1981年) 36百万ドル
- GNP (1982年) 7,162百万ドル (818ドル/人)



15世紀以来、ヨーロッパ列強諸国の貿易船が来航し、象牙の取引を行っていたが、当時既に、相当発達した王国が存在していたため、19世紀中葉まで、ヨーロッパ勢力は、あまり、浸透しなかった。しかし、1893年には、フランス総督府が置かれ、フランスの植民地となった。第二次大戦後、ウフェ・ボワニ(最初の大統領となる)が、象牙海岸民主党を結成し、独立運動を推進した。その後1958年9月の仏第5共和制国民投票により、同年12月、共同体内の自治共和国となり、1960年8月に至りフランス共同体の枠から離れ、完全独立を宣言した。

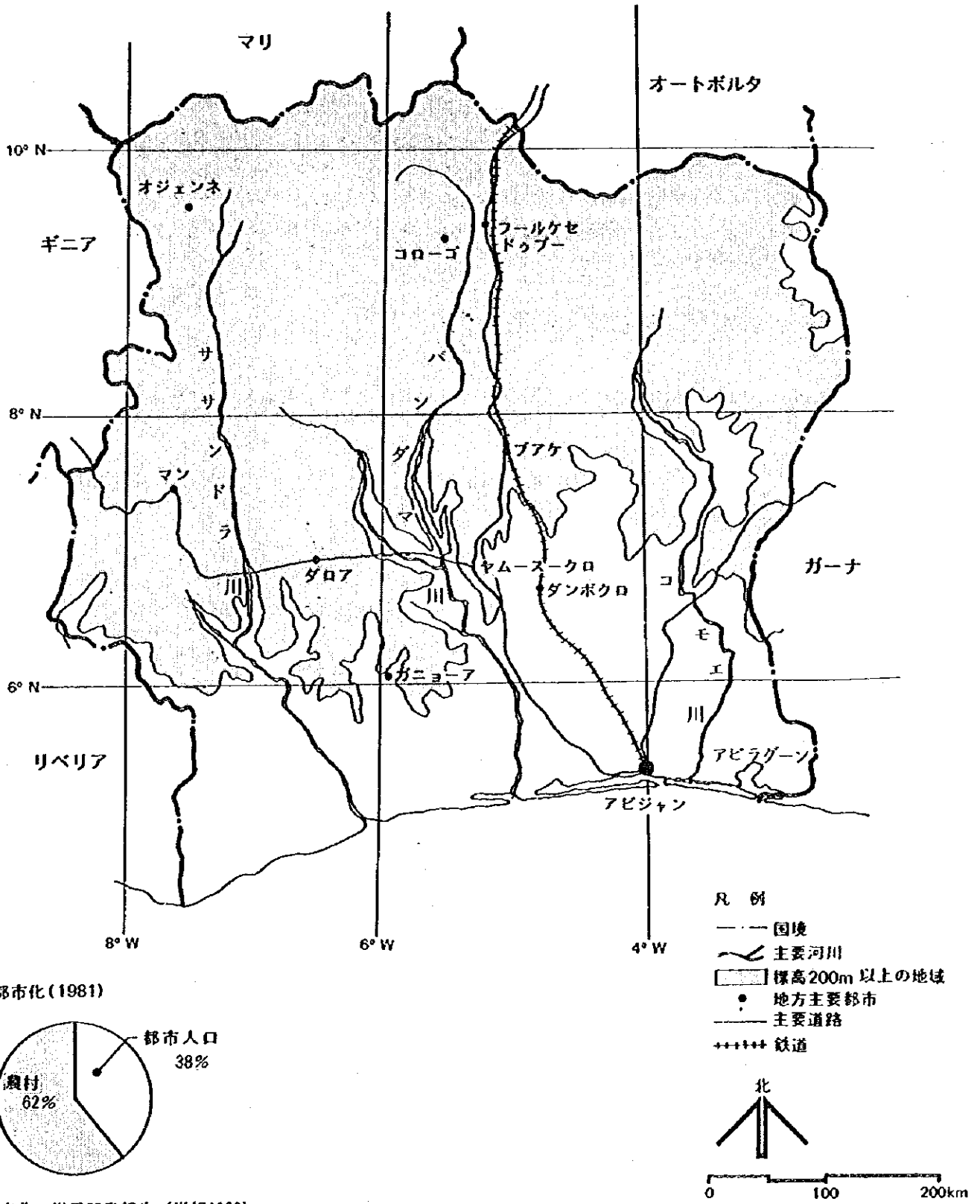
独立後10年間は、毎年7~12%の「コートジボワールの奇跡」と呼ばれる経済成長を達成し、ブラックアフリカの中で、所得水準において、有数の国となった。産業については、農業部門の人口が、7割を占め、コーヒー、ココア、木材が主要輸出品となっている。政府は、コーヒー、ココアによるモノカルチャーの状態からの脱皮を図っており、輸出用農産品の多様化を促進している。

象牙海岸は、旧フランス系アフリカ諸国における最大の工業発展国であり、鉱工業のGDPに占める割合が、1960年には14%であったが、1980年には、22%に達している。さらに、1970年代末頃より、石油生産が開始された。しかし、1981年に至り、主要輸出品価格の低迷と輸入工業品の引き続き高騰等により、国際収支は、大巾な赤字を計上し、かつて経験したことのない景気後退になり、翌1982年も成長率は更に低下した。

象牙海岸は、独立以来、フランスを中心とするフランス語圏ないし、西欧諸国等と経済を中心とする協力を進め、ほぼ西側寄りの穏健かつ現実的な外交政策をとっている。

近隣諸国との関係では、上ヴォルタ、ニジェール、ダホメ、トーゴの各国と協商理事会を結成しているほか、フランス圏の一環として、近隣5カ国と共に西アフリカ通貨同盟(UMOA)を結成し、友好関係を保っている。また、西アフリカ経済共同体(加盟国6国、オブザーバー2カ国)内において、主導的地位を占めているほか、16ヶ国より形成されるECOWAS(西アフリカ諸国経済共同体)の主要メンバーでもある。

図-1 象牙海岸の概要図



(出典：世界開発報告/世銀1983)

## 1-1 開発計画概要

### 1. 既往の開発計画

- 第1次3カ年計画 (1967~1970)
- 第2次5カ年計画 (1971~1975)
- 第3次5カ年計画 (1976~1980)

第1次計画では、①農業生産物の多様化、②農産物の加工化の促進、③輸入代替産業の育成、の3点を主要な経済目標におき、ほぼ満足する成果をあげた。この好調な成果をもとに70年代の開発計画の基本方針は自由主義経済を基調とし、外国の優れた技術、資本を継続導入することにおかれた。ただし、第3次5カ年計画は、1978年のコーヒーの不作、オイルショック等の影響で、GDP成長率、年8.7%の目標に対し、年6.9%の伸びにとどまっている。

### 2. 現行の開発計画 (第4次経済社会開発5カ年計画, 1981~1985)

#### (1) 主要目標

同計画では次の4大方針を掲げ、計画期間内のGDP年成長率5.7%を目標としている。(表-1)

- ① 自由主義の維持
- ② 経済の門戸開放
- ③ 地域間で均衡のとれた開発
- ④ 近隣諸国との協力

ただし、81年はマイナス成長、82年はゼロ成長であり、83年には1~2%の成長が見込まれているにすぎず、5カ年計画期間中の年平均5.7%の経済成長率は達成が困難なものと考えられている。

表-1 GDP年平均成長率目標

部 門	80~85年	85~90年
第1次産業部門 (うち農業) 注1)	7.7% (5.3%)	6.4% (5.3%)
第2次産業部門 (うち工業) 注2)	4.7% (7.2%)	8.1% (8.6%)
第3次産業部門	5.0%	7.7%
国内総生産 (GDP)	5.7%	7.4%

注1) 鉱業、原油を含む。

注2) BTP (建設、公共事業) を含む。

(出典: JETRO内部資料)

#### (2) 重点施策

上述した開発戦略の目標を達成するために、次の4指針を挙げている。

- ① 農業近代化の優先 — 農民援助、青年層の農民化
- ② 経済効率、生産性、競争力の改善 — 国内資源の活用、地域間協力
- ③ 手工業および伝統部門の近代化 — 都市部の雇用均衡化
- ④ 人的資源の有効利用 — 教育、職業養成

## 3. 象牙海岸



### 1-3 開発予算

#### 1-3-1 開発予算

第4次5カ年計画期間中における公共投資額は合計で、2兆260億CFA.F(約60億ドル;82年レート,1ドル=336.25CFA.F)で、国内総生産額の18%に相当している。

このうち約3分の1に当る7,560億CFA.Fが、生産部門,社会施設建設,国土整備に関する開発援助に充てられている。開発援助の中では、エネルギー関連に2,990億CFA.F,輸送・通信関連に3,473億CAF.Fが割当てられている。また、地域別にみると2,560億CFA.Fが都市部に対する投資に充てられている。

その他で投資額の大きい部門は、教育・職業養成に2,300億CFA.F,生活環境に2,520億CFA.Fなどがある。

#### 1-3-2 国家予算

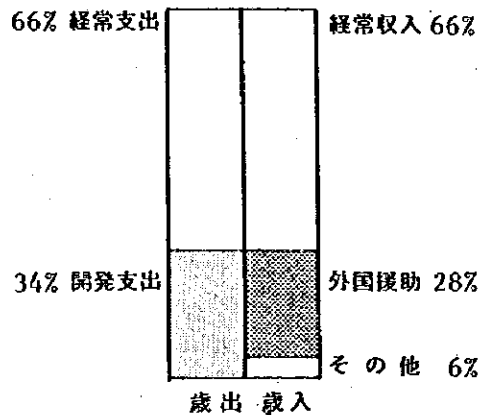
1983年における象牙海岸の国家予算は前年比約9%減の総額,6,595億CFA.Fであり,81年以降2年間連続の減少予算案となっている。

予算が減少する中でも,経常支出は若干増加しており,開発支出の減少幅が大きい。

表-2 国家予算 10億CFA.F

歳出	総額	659.5
	経常支出 (対前年3.5%増)	435.3
	開発支出 (対前年25.5%減)	224.2
歳入	総額	659.5
	経常収入	435.3
	外国援助	184.4
	その他	39.8

図-2 国家予算内訳



## 2 経済・技術協力の推移

### 2-1 1970年代における援助実績の推移

象牙海岸に対する70年代政府開発援助活動の特色は次のとおりである。

- (1) 象牙海岸に対する政府開発援助額は、70年代を通じて増加する傾向にあり、80年には210.3百万ドルと71、72年の約4倍、また、75、76年の約2倍の水準となった。ただし、近年の援助額は、80年のピークに比べると大幅に減少している。
- (2) 二国間、国際機関の援助主体別にみると、二国間援助が多く、その比率は比較的安定し、79年を除きODA総額の65～80%を占めている（79年は85.8%）。OPEC諸国からの援助は行われていない。（図-3）
- (3) 援助形態別のODA推移では、贈与が主となっているものの、贈与比率は、73～75年の70～80%台から、以後50～60%台に移行し、近年借款の比重が一層高まる傾向がみられる。贈与の中では、72年を除き技術協力の比率が高く、概ね80%を占めている。（図-4）
- (4) 象牙海岸に対する援助活動は、一貫してフランスが第1位の援助国であり、71～82年でODA総額の39.1～56.3%（平均50.6%）を供与している。（図-5）

### 2-2 最近の動向

80年まで着実に増額されてきた象牙海岸の援助額も、81年には前年比41.2%減の123.7百万ドルとこれまでとは大きく異なる変化を示している。81年に援助額が大幅に減少した背景には、IMFの勧告により厳しい緊縮政策に転じたことが挙げられ、特に、フランスとIMFの減額が著しい。

図-6および表-3、-4に1981、82年の援助動向を示した。81年に激減した援助額は、82年には再び増加し136.8百万ドル（78年と同水準）となっている。この2カ年では、主要援助国のシェア、および順位は、ほぼ同じであり、二国間援助ではフランスが72～73%を占め以下西ドイツ、ベルギー、カナダと続いている。また、国際機関の援助では、EECが、81～86%を占め、UNDPがそれに次いでいる。すなわち、81、82年の援助活動の特色は、70年代中期と同様に援助主体がフランスとEECに片寄っていることであり、この2者で、ODA総額の75～76%に達している。援助形態では、81年の贈与比率59.4%から82年には過去12年間で最低の47.4%となったが、これは、主要援助国、機関であるフランス、西ドイツ、EEC等とともに贈与比率を減じたことによる。

# 象牙海岸に対する政府開発援助（ODA）額の経年推移（1971～1982年）

図-3 援助主体別ODA推移

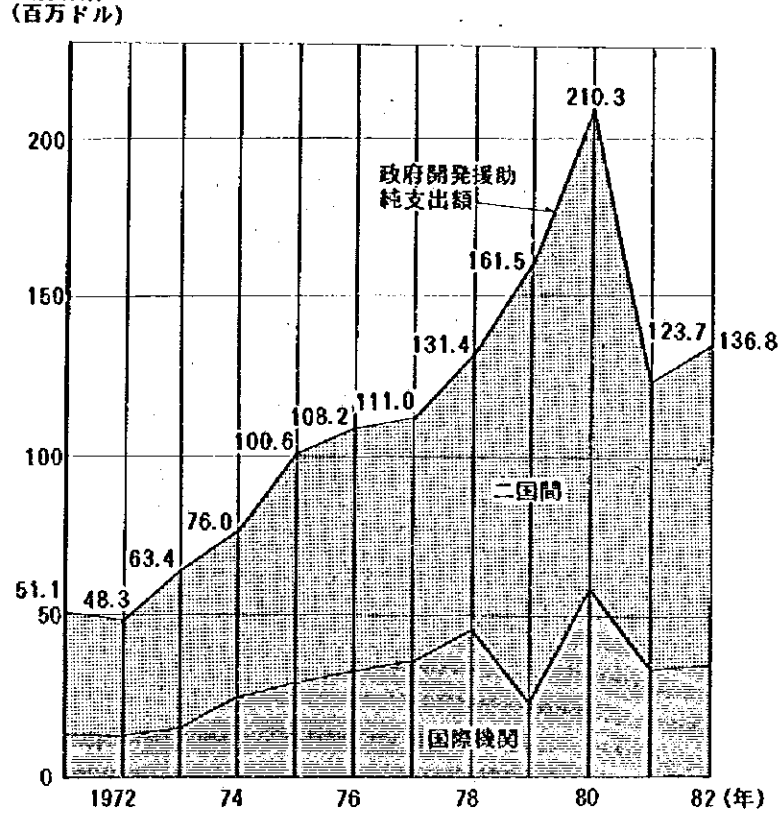


図-5 主要援助国・国際機関別ODA推移  
〈政府開発援助（ODA）純支出額ベース〉  
単位：百万ドル

象牙海岸に対する援助活動の特色は、フランスの援助額が他の援助国、国際機関に比べ、群を抜いて多いことであり、第2位の援助国、機関のほぼ2～3倍となっている。このことは、対コードジボアール全体のODAにも反映され、ODA総額の推移（図-3、4）は、フランスのODA推移とほぼ一致した動きを示している。また、フランスに次ぐ援助主体は、EEC、西ドイツであり、ヨーロッパ諸国との強い結びつきがうかがえる。

IMFは、第2次石油ショックと前後して78年、80年にそれぞれ、27.1百万ドル、37.8百万ドルの援助を行ったが、81年に緊縮政策を勧告し、以後の援助は、ほとんど行われていない。なお、IMFの勧告は、象牙海岸の国際収支が79年赤字に転ずる等、70年代の経済活動が60年代に比べ低迷していることに基づいている（81年からの5カ年計画でも目標成長率達成は困難とみられている）。

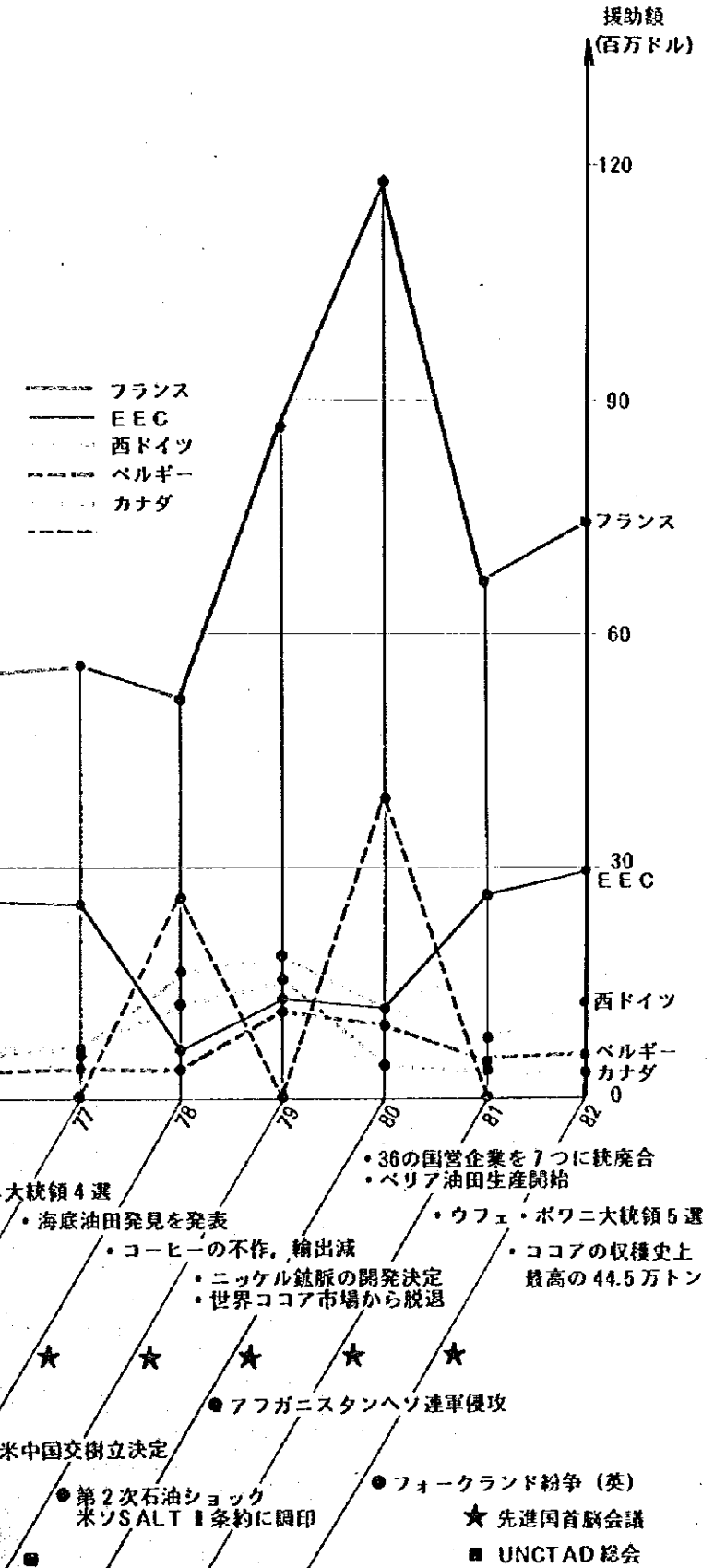
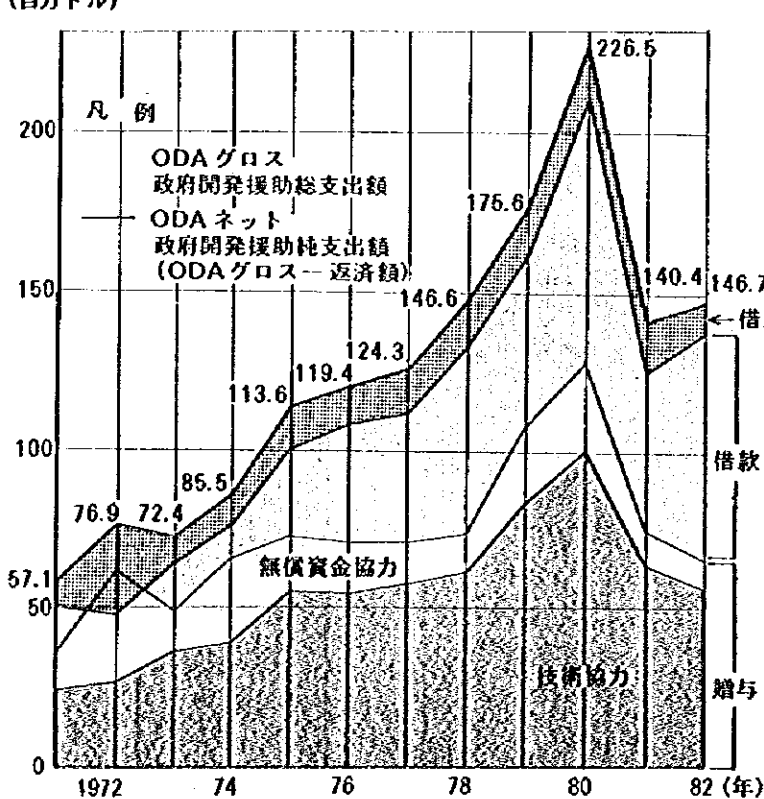
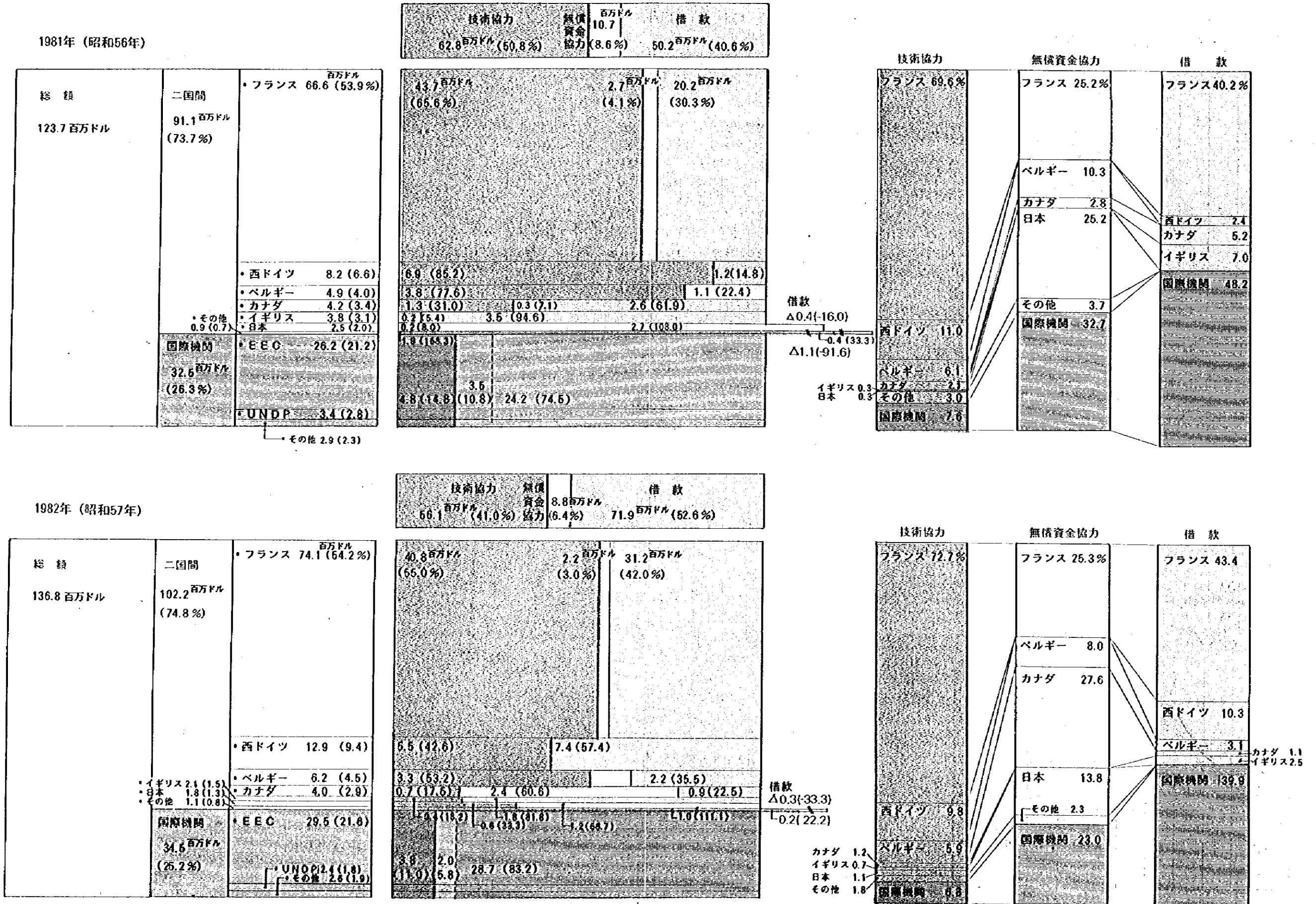


図-4 援助形態別ODA推移



（出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD / 1978, 82, 84）

図-6 主要援助国・国際機関による対象国海岸政府開発援助（ODA）の実績



表一3 1981年対象牙海岸政府開発援助 (ODA) 実績総括表

援助機関	援助国	技術協力		無償資金協力		借  款		政府開発援助総額	
		金額 (百万ドル)	全体比 %	金額 (百万ドル)	全体比 %	金額 (百万ドル)	全体比 %	金額 (百万ドル)	全体比 %
二 国 間 援 助	フランス	43.7	( 69.6)	2.7	( 25.2)	20.2	( 40.2)	66.6	( 53.9)
	西ドイツ	6.9	( 11.0)	--	( --)	1.2	( 2.4)	8.2	( 6.6)
	ベルギー	3.8	( 6.1)	1.1	( 10.3)	--	( --)	4.9	( 4.0)
	カナダ	1.3	( 2.1)	0.3	( 2.8)	2.6	( 5.2)	4.2	( 3.4)
	イギリス	0.2	( 0.3)	--	( --)	3.5	( 7.0)	3.8	( 3.1)
	日 本	0.2	( 0.3)	2.7	( 25.2)	-0.4	( -0.8)	2.5	( 2.0)
	そ の 他	1.9	( 3.0)	0.4	( 3.7)	-1.1	( -2.2)	0.9	( 0.7)
	(小計)	58.0	( 92.4)	7.2	( 67.3)	26.0	( 51.8)	91.1	( 73.7)
国 際 機 関	E E C	--	( --)	--	( --)	--	( --)	26.2	( 21.2)
	U N D P	--	( --)	--	( --)	--	( --)	3.4	( 2.8)
	そ の 他	--	( --)	--	( --)	--	( --)	2.9	( 2.3)
	(小計)	4.8	( 7.6)	3.5	( 32.7)	24.2	( 48.2)	32.5	( 26.3)
O P E C 諸 国		--	( --)	--	( --)	--	( --)	--	( --)
合  計		62.8	( 100.0)	10.7	( 100.0)	50.2	( 100.0)	123.7	( 100.0)

表一4 1982年対象牙海岸政府開発援助 (ODA) 実績総括表

援助機関	援助国	技術協力		無償資金協力		借  款		政府開発援助総額	
		金額 (百万ドル)	全体比 %	金額 (百万ドル)	全体比 %	金額 (百万ドル)	全体比 %	金額 (百万ドル)	全体比 %
二 国 間 援 助	フランス	40.8	( 72.7)	2.2	( 25.3)	31.2	( 43.4)	74.1	( 54.2)
	西ドイツ	5.5	( 9.8)	--	( --)	7.4	( 10.3)	12.9	( 9.4)
	ベルギー	3.3	( 5.9)	0.7	( 8.0)	2.2	( 3.1)	6.2	( 4.5)
	カナダ	0.7	( 1.2)	2.4	( 27.6)	0.9	( 1.3)	4.0	( 2.9)
	イギリス	0.4	( 0.7)	--	( --)	1.8	( 2.5)	2.1	( 1.5)
	日 本	0.6	( 1.1)	1.2	( 13.8)	--	( --)	1.8	( 1.3)
	そ の 他	1.0	( 1.8)	0.2	( 2.3)	-0.3	( -0.4)	1.1	( 0.8)
	(小計)	52.3	( 93.2)	6.7	( 77.0)	43.2	( 60.1)	102.2	( 74.8)
国 際 機 関	E E C	--	( --)	--	( --)	--	( --)	29.5	( 21.6)
	U N D P	--	( --)	--	( --)	--	( --)	2.4	( 1.8)
	そ の 他	--	( --)	--	( --)	--	( --)	2.6	( 1.9)
	(小計)	3.8	( 6.8)	2.0	( 23.0)	28.7	( 39.9)	34.5	( 25.2)
O P E C 諸 国		--	( --)	--	( --)	--	( --)	--	( --)
合  計		56.1	( 100.0)	8.8	( 100.0)	71.9	( 100.0)	136.8	( 100.0)

注) 四捨五入の関係で内訳の計が、合計欄の数値と一致しないことがある。

### ③ 主要援助国・国際機関による援助の実績と特徴

#### 3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴

贈与、借款の援助形態別に各国の占める比率の推移を示した図-7から次のことが指適できる。

(1) 贈与では、フランスを主とする二国間援助が大半を占め、経年的にみると国際機関の比率は減少傾向にある。80~82年の平均では、二国間援助90.2%(フランスのみで68.4%)に対し国際機関は、9.8%にすぎない。

(2) 借款では、国際機関の比率が高く74~78年では、45.5~65.8%を占めた。ただし、図では示されていないが以後の年変動は激しく、79年11.5%、80年55.8%、81年5.6%、82年39.9%となっている。二国間援助でも年変動が大きい。近年フランスの比率が高く、81、82年では、40%台のシェアを占めている。なお、72年は、フランスへの借款返済額18.6百万ドルがあったため、全体で13.0百万ドルのマイナスとなっている。

1982年の分野別援助内訳(図-8)では、技術協力、無償資金協力、借款の援助形態別にそれぞれ異なる傾向となっている。金額ベースの比率でみて特に目立つのは、技術協力では、計画・行政分野(44.7%)と人的資源分野(39.0%)また、無償資金協力では、農林・水産分野(87.0%)である。どの援助形態でも、商業・観光分野および社会福祉分野の比率は低い。

主要援助国、国際機関別にみた援助の特徴は、表-5に整理した。

図-7 援助形態にみる主要援助国・国際機関の特徴 (1972~1982年)

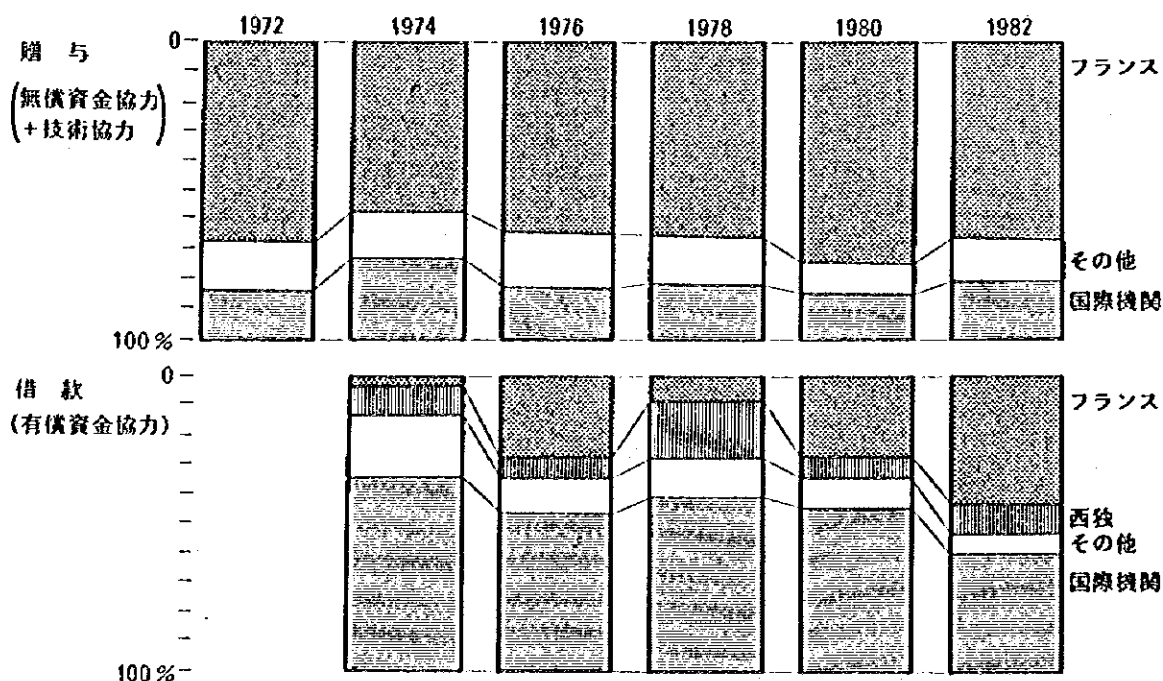
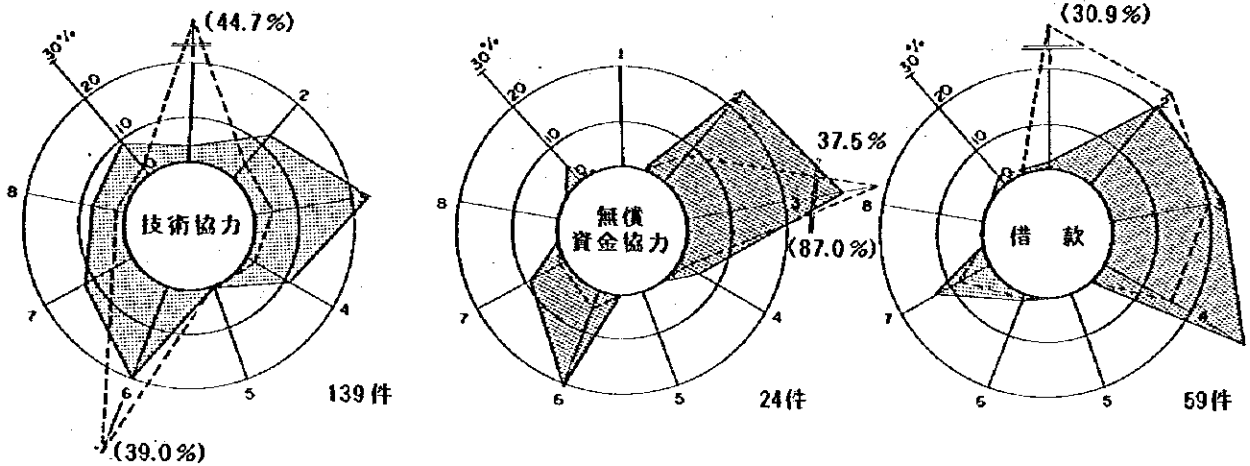
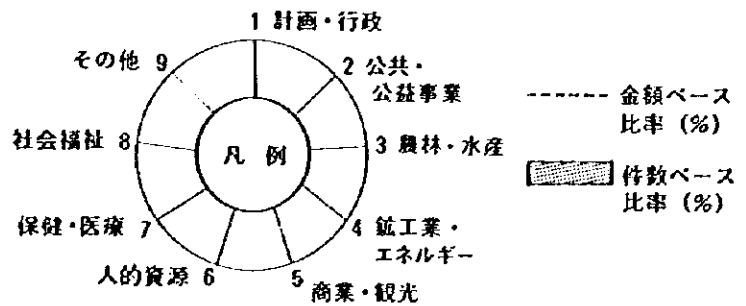
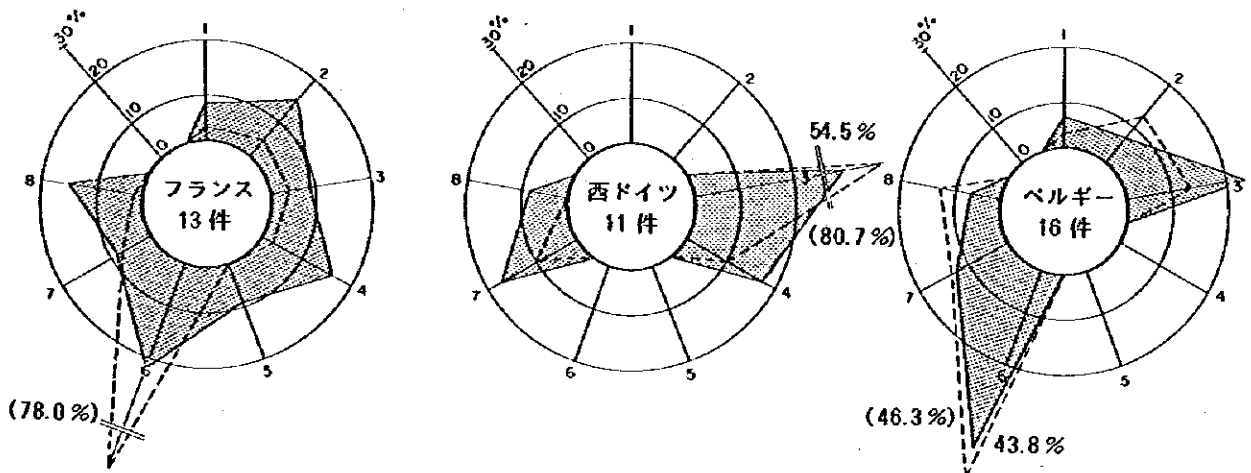


図-8 援助分野にみる主要援助国・国際機関の特徴 (1981年)

援助形態別合計



技術協力プロジェクトにおける各国・機関別分野配分



出典:

RAPPORT SUR LA COOPERACION AU DEVELOPPMENT EN REPUBLIQUE DE COTE D'IVOIRE 1982; UNDP, ABIDJAN  
 但し日本についてはJICA資料による。

表一5 主要援助国・国際機関別援助の特徴

国・機関名	援助額：百万ドル (贈与比率：%)		援助形態
	1981	1982	
フランス	66.6 (69.7)	74.1 (58.0)	<p>贈与を主とする援助形態であり70年代の贈与比率は80%前後で推移したが81年では、贈与の減少により、また82年には借款の増加により贈与比率が低下している。</p> <p>贈与の内訳は一貫して、技術協力に重点が置かれ、81、82年では94～95%を占める。</p>
西ドイツ	8.2 (84.1)	12.9 (42.6)	<p>贈与(内訳はほぼ100%技術協力)は70年代初期の2～3百万ドル代から80年代初期の5～6百万ドル台へと着実に増額されたが、借款は0.2～12.2百万ドルと年変動が大きく、両者の比率は安定していない。</p>
ベルギー	4.9 (100.0)	6.2 (64.5)	<p>75年までは、ほぼ100%技術協力であったが、以後資金協力も行われている。82年では技術協力53.2%、無償資金協力11.3%、借款35.5%の比率である。</p>
E E C	26.2	29.5	<p>UNDPの年次報告書によると、82年の援助形態は全て無償資金協力(贈与)となっている。</p>
I M F	0.2 (-)	0.0 (-)	すべて借款。



---

### 援助実績 (①) と 1982年の援助分野別特徴 (②)

---

① 70年代、80年代初期において他の援助国、機関を大きく上回る援助実績を有しており、旧宗主国フランスの援助額の増減パターンは、ほぼそのまま対象牙海岸全体のODA増減パターンに表われている。援助額は70年代前半着実に増加し、75年、50百万ドルの水準に達したのち78年まで横ばい傾向となったが、象牙海岸の緊縮政策を受けて、援助額（特に贈与）はほぼ半減した。一方、82年では、借款の伸びが大きく31.2百万ドルと対象牙海岸借款総額の43.4%を占めている。

② 技術協力では技術者の派遣を主とする人的資源分野が78.1%を占め、また借款では、農村開発分野別貸付けを主とする農林・水産分野が68.0%に達しており援助分野は片寄っている。

---

① 二国間援助では、フランスに次ぐ援助国であるが、ODA総額に占める比率は低く、78、79年以外は、5～10%の水準である。78、79年はODA総額の12～13%を占めたが、これは借款による援助額が急増したことによる。

② 技術協力、借款とも牛畜産開発あるいは、牧場整備等の畜産プロジェクト（農林・水産分野）が、件数、金額ともに多い。借款では他にアビジャン港の整備（公共・公益事業分野）、飲料水道の整備（保健医療分野）等の大型案件がある。

---

① 79年に11.8百万ドルと過去最高の援助額となったが、以後減少～横ばい傾向となっている。80～82年では、二国間援助第3位国であるが、ODA総額に占める割合は4～5%と低い。

② 技術協力では、高等中学校への教員（専門家）派遣等の人的資源分野が46.3%を占める。

---

① 77年（象牙海岸で海底油田発見）までは着実に援助額を増し、ODA総額の23%に当たる25百万ドル台の援助を行ったが翌78年には6.4百万ドルと4分の1に減額された。しかし、以後81年に2.3倍の伸びを示し76、77年を上回る援助額となった。

② 農林・水産分野が90%以上を占め、主なプロジェクトにはコーヒー輸出価格安定のための無償資金協力がある。

---

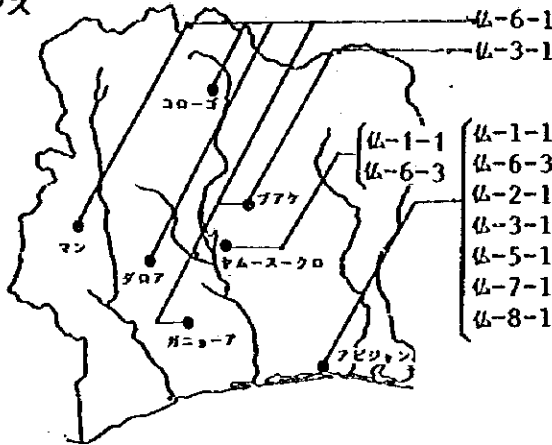
EECの援助額が急減した78年に27.1百万ドル（ODA総額の20.6%）また、80年には37.8百万ドル（同18.0%）の単発的な援助を行った。70年代後半における国際機関の援助動向は、主にこのIMFの増減を反映したものである（図-3および図-5参照）。

---

図-9 国別・国際機関別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 (1981~82年)

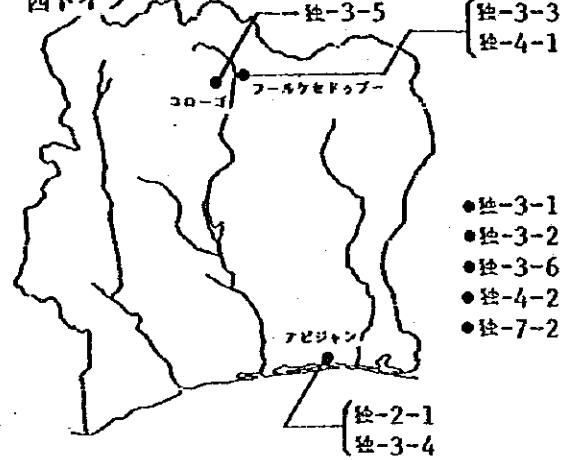
● フランス

- 仏-3-2
- 仏-3-3
- 仏-3-4
- 仏-4-1
- 仏-4-2
- 仏-7-2



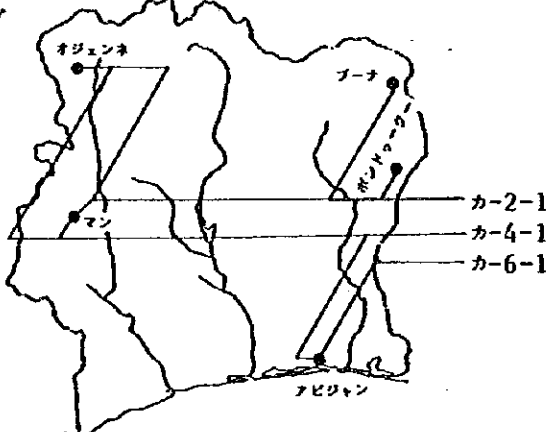
● 西ドイツ

- 独-3-1
- 独-3-2
- 独-3-6
- 独-4-2
- 独-7-2



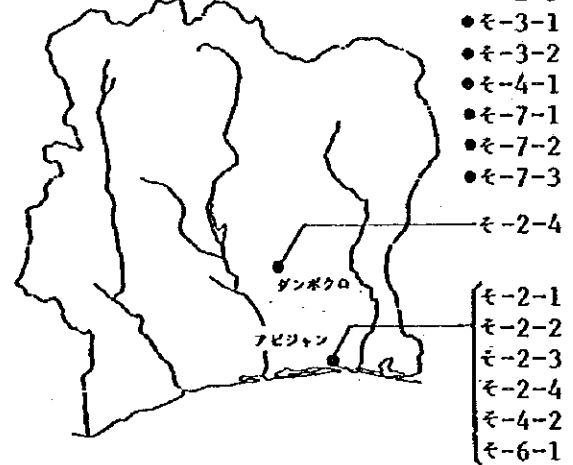
● カナダ

- カ-4-2
- カ-4-3
- カ-6-2
- カ-9-1
- カ-9-2



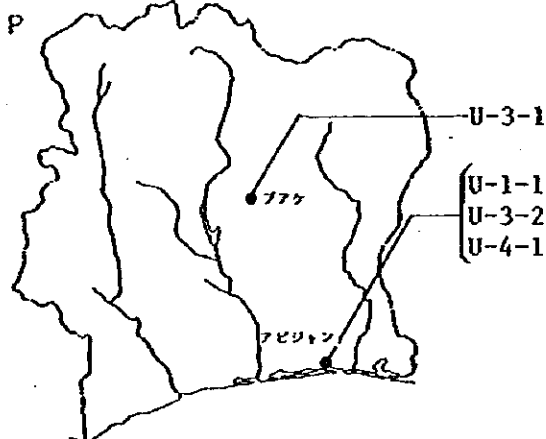
● その他

- そ-2-4
- そ-2-5
- そ-3-1
- そ-3-2
- そ-4-1
- そ-7-1
- そ-7-2
- そ-7-3



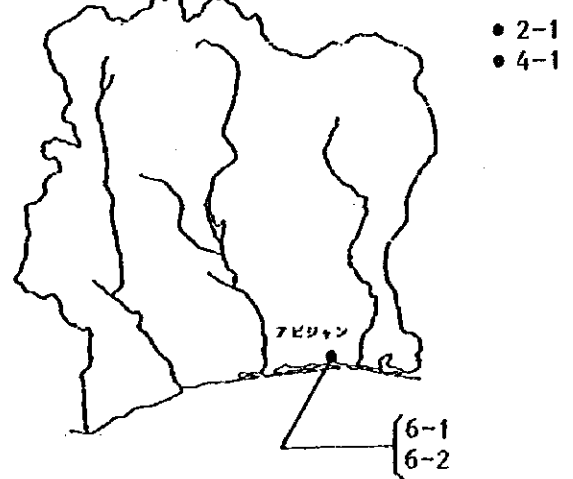
● UNDP

- U-2-1



● 日本

- 2-1
- 4-1



● IBRD

- I-1-1 ●I-4-2
- I-2-1 ●I-4-3
- I-2-2 ●I-4-4
- I-2-3 ●I-4-5
- I-2-4 ●I-4-6
- I-2-5 ●I-6-1
- I-3-1 ●I-7-2
- I-3-2
- I-3-3
- I-3-4
- I-3-4
- I-4-1

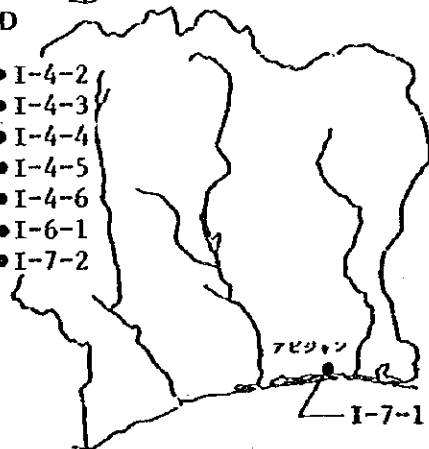
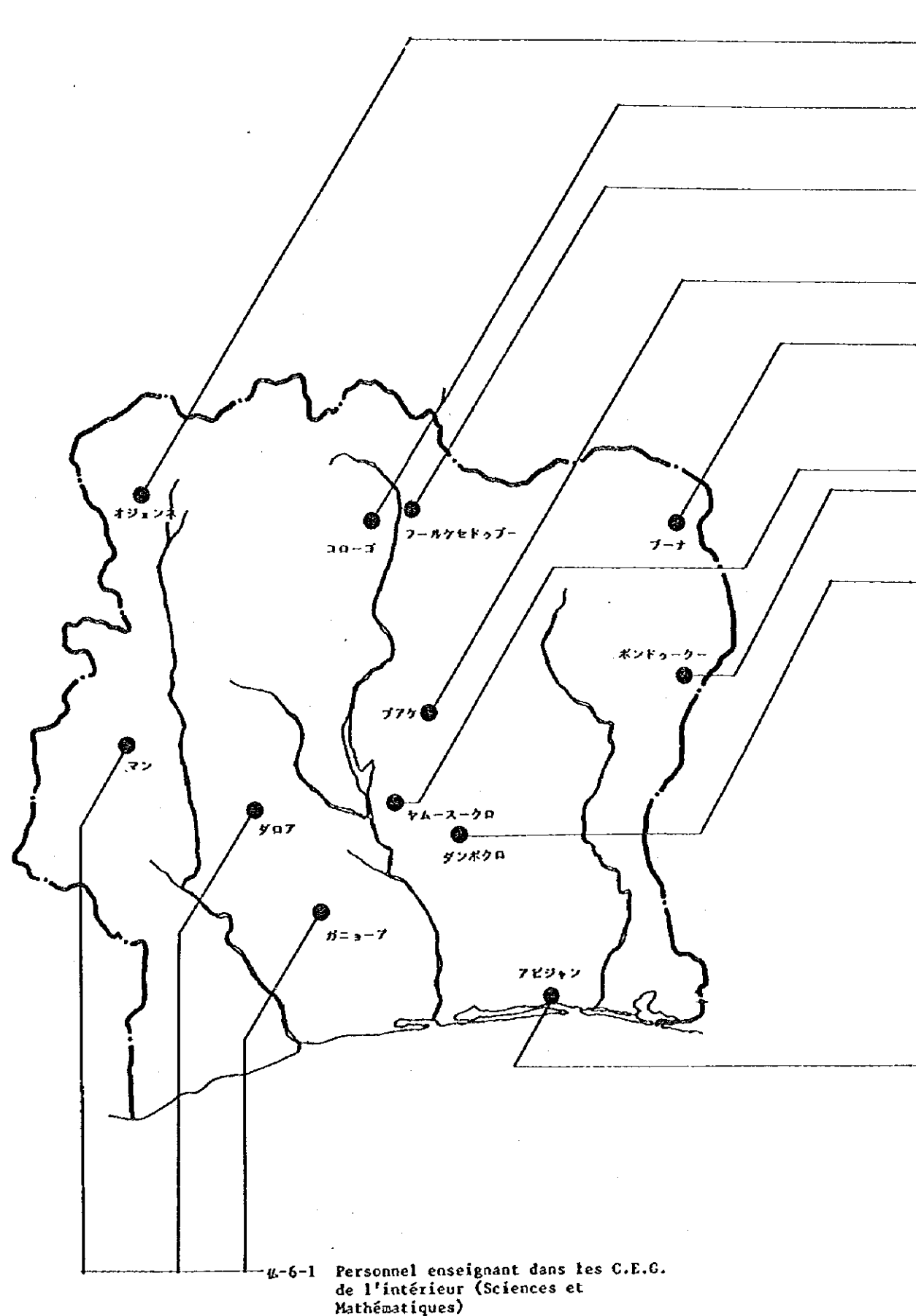


図-10 主要経済・技術協力プロジェクトの所在全体図 (日本を除く主要援助国・国際機関)  
(1981~82年)

- 凡例 A-1-1 ● プロジェクト名  
 L 分野内通し番号  
 分野区分 (巻末表参照)  
 主要国・国際機関略称  
 仏-フランス U-UNDP  
 独-西ドイツ I-IBRD  
 カ-カナダ その他

● 広域プロジェクト等

- U-3-2 Prêt sectoriel de développement rural
- U-3-3 Prêt sectoriel de développement rural
- U-3-4 Projet forestier
- U-4-1 Assistance technique
- U-4-2 Assistance technique
- U-7-2 Hydraulique urbaine et villageoise
- U-3-1 Aménagement Agro-pastoral
- U-3-2 Développement de l'Elevage Bovin Paysan dans le Nord de la Côte d'Ivoire
- U-3-6 Aménagements pastoraux au Nord de la Côte d'Ivoire
- U-4-2 Expert en coopération industrielle auprès du Ministère du Plan et de l'Industrie
- U-7-1 Adduction d'Eau Potable
- K-4-2 EECI/4ème programme d'électrification rurale (Centres Araignées)
- K-4-3 Hydraulique Villageoise
- K-6-2 Coopération Institutionnelle
- K-9-1 Contribution financière aux ONG (Organisation non-Gouvernementale)
- K-9-2 Bourses du Québec
- U-2-1 Académie des Sciences et Techniques de la Mer (OMI)
- I-1-1 Structural Adjustment
- I-2-1 Télécommunications
- I-2-2 Highways V
- I-2-3 Feeder Roads
- I-2-4 Highway Sector
- I-2-5 Urban II
- I-3-1 SAPH (Société Africaine de Plantations d'Hévéas)
- I-3-2 Forestry
- I-3-3 N.E. Rural Development
- I-3-4 Grand Bereby - Rubber II
- I-4-1 Tourism II
- I-4-2 Small/Medium Scale Enterprise
- I-4-3 Small Scale Enterprise
- I-4-4 Power I
- I-4-5 Oil Exploration
- I-4-6 BIDI (Banque Ivoirienne de Développement Industriel)
- I-6-1 Education III
- I-7-2 Secondary Centers Water Supply
- E-2-4 Construction de logements à loyers modérés
- E-2-5 Ivory Coast Interior Cities - Shelter Development Project
- E-3-1 STABEX Café (5ème FED)
- E-3-2 Développement agricole
- E-4-1 IVOINOR I - Deuxième phase du projet EECI d'électrification rurale dans l'Est ainsi que des lignes de haute tension
- E-7-1 Strengthening of Health Delivery Systems
- E-7-2 Combatting Childhood Communicable Diseases
- E-7-3 Hydraulique Villageoise et Pastorale

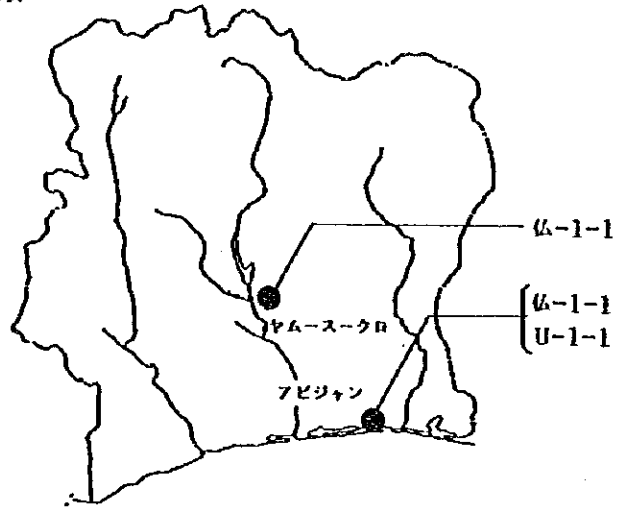


- K-2-1 FRAR (Fonds Régionaux d'Aménagement Rural)
- K-4-1 Programme intercalaire de prospection minière
- U-6-1 Assistance technique
- U-3-5 Laboratoire de Pathologie Animale, Korhogo
- U-3-3 a) Centre d'Embouche Bovine, Ferkessedougou  
b) Abattoir Frigorifique Ferkessedougou
- U-4-1 Biogaz au Centre d'Embouche Bovine, Ferkessedougou (CEB)
- U-3-1 Assistance technique
- U-6-1 Assistance technique
- U-3-1 Ferme d'Elevage (Encadrement et Promotion des Fermes d'Elevage en Côte d'Ivoire)
- K-2-1 FRAR (Fonds Régionaux d'Aménagement Rural)
- U-1-1 Assistance technique
- U-6-3 Assistance technique
- K-2-1 FRAR (Fonds Régionaux d'Aménagement Rural)
- E-2-4 Construction de logements à loyers modérés
- アビジャン
- U-1-1 Assistance technique
- U-2-1 Assistance technique
- U-3-1 Assistance technique
- U-5-1 Assistance technique
- U-6-3 Assistance technique
- U-7-1 Assistance technique
- U-8-1 Assistance technique
- E-2-1 Extension du Port d'Abidjan
- E-3-4 Conseiller Technique au Ministère de la Production Animale
- U-1-1 Administration publique (UNDTCD)
- U-3-2 Production Animale - Ministère (FAD)
- U-4-1 Développement industriel (UNIDO)
- I-7-1 Abidjan Sewerage II
- E-2-1 Construction d'un navire destiné à la SITRAM
- E-2-2 Télécommunications Plateau III
- E-2-3 Prêt à l'Office des Postes et Télécommunications pour le financement partiel du projet d'extension et de modernisation du réseau de câbles téléphoniques d'Abidjan
- E-4-2 Ligne de crédit à la BIDI pour le financement partiel des projets de petites et moyennes industries
- E-6-1 Personnel enseignant dans les C.E.G. de l'intérieur (Sciences et Mathématiques)

図-11 分野別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図  
(1981~82年)

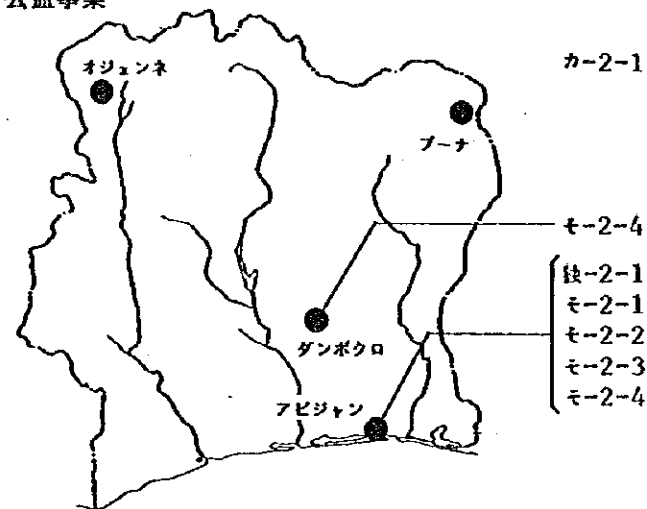
1. 計画・行政

- I-1-1



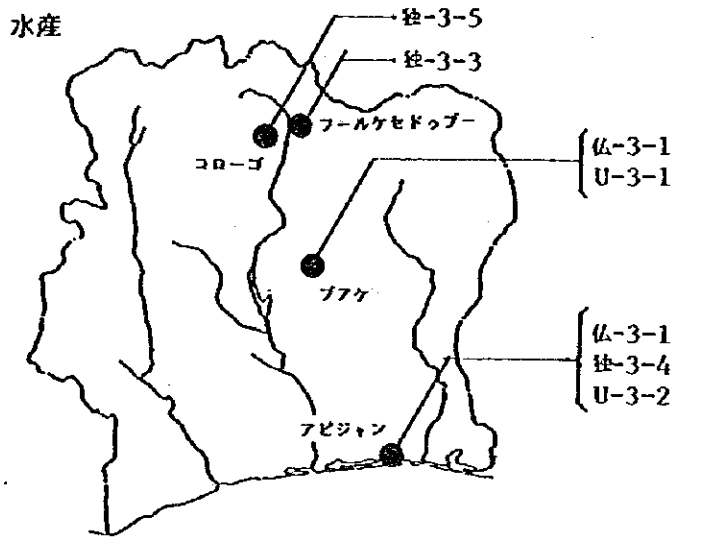
2. 公共・公益事業

- U-2-1
- I-2-1
- I-2-2
- I-2-3
- I-2-4
- I-2-5
- モ-2-4
- モ-2-5



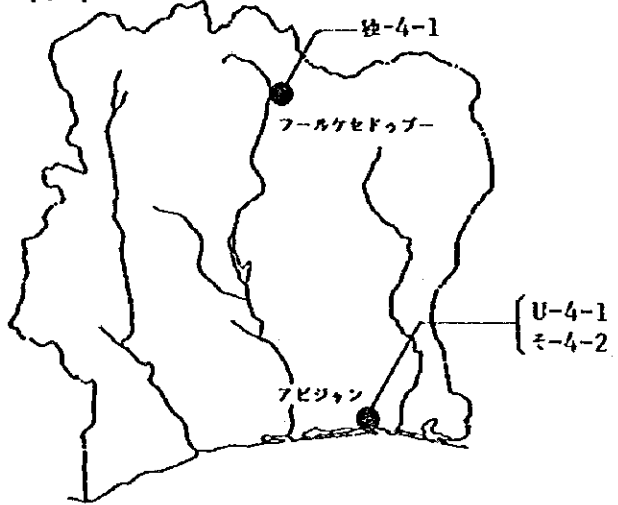
3. 農林・水産

- 仏-3-2
- 仏-3-3
- 仏-3-4
- 仏-3-1
- 仏-3-2
- 仏-3-6
- I-3-1
- I-3-2
- I-3-3
- I-3-4
- モ-3-1
- モ-3-2

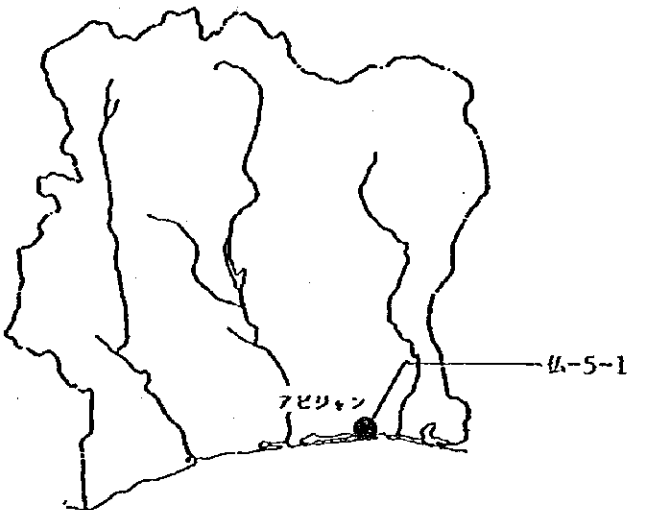


4. 鉱工業・エネルギー

- 仏-4-1
- 仏-4-2
- 仏-4-2
- カ-4-2
- カ-4-3
- I-4-1
- I-4-2
- I-4-3
- I-4-4
- I-4-5
- I-4-6
- モ-4-1

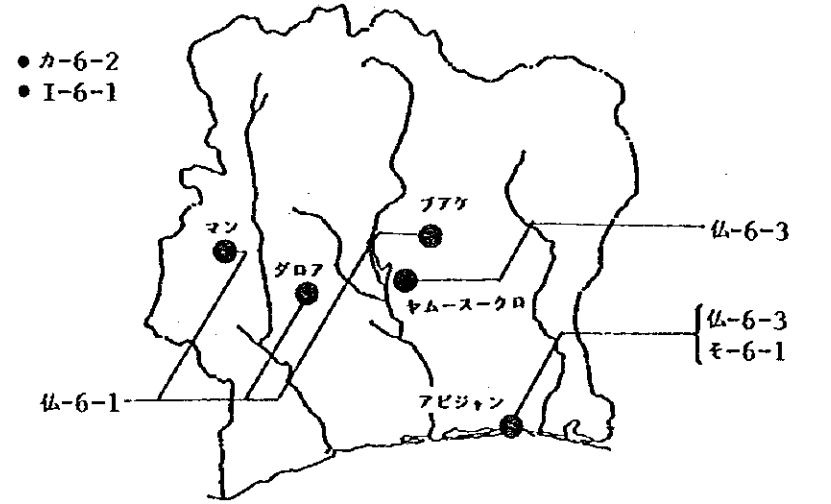


5. 商業・観光



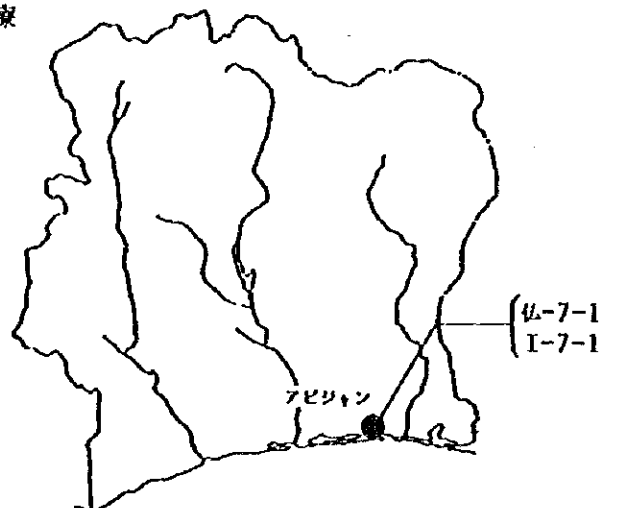
6. 人的資源

- カ-6-2
- I-6-1

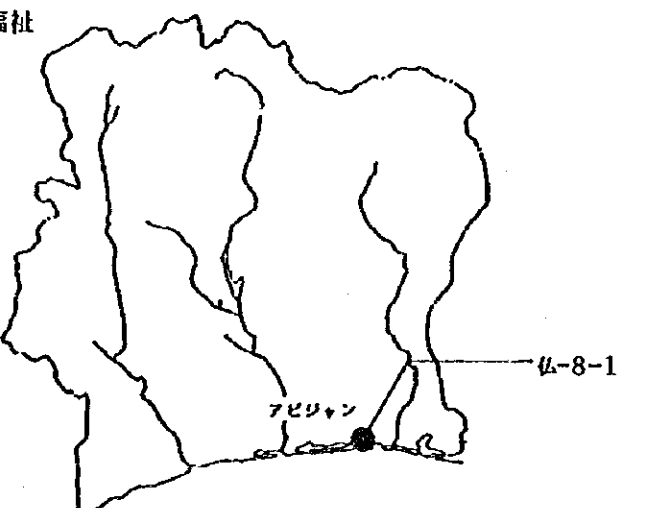


7. 保健・医療

- 仏-7-2
- 仏-7-1
- I-7-2
- モ-7-1
- モ-7-2
- モ-7-3

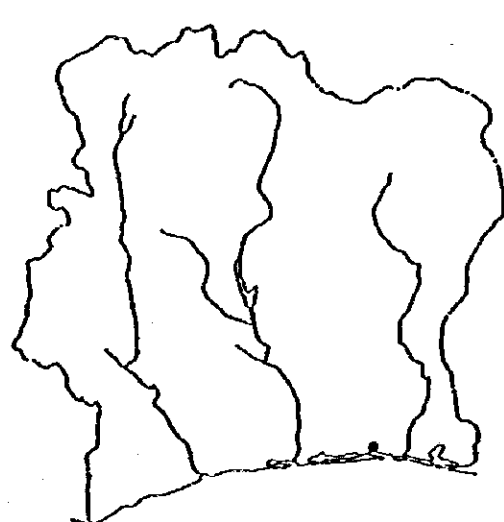


8. 社会福祉



9. その他

- カ-9-1
- カ-9-2



### 3-2 主要経済・技術協力プロジェクトの概要 (表-6)

凡 例

- 1) 「番号」は 国名-分野-分野内での通し番号 の順で設定した。
- 2) 「供与金額」において ⑧2-1982年 ⑧2-プロジェクト期間総計  
N/A-Not Available (不明)(いずれもコミットメント額)
- 3) 「備考」において ④-専門家派遣 ⑤-研修(研修員受入, フェローシップ研修) ⑥-機材供与  
無償-無償資金協力 有償-有償資金協力  
無償・有償の記述のないものは技術協力プロジェクトである。

フランス					
番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)	
				供与金額	備 考
仏-1-1	Assistance technique — 技術援助全般。計81名の技術者を派遣	Abidjan, Yamoussoukro	1982	⑧2 4,561 ⑧2 4,561	
仏-2-1	Assistance technique — 技術者143名, 技術指導者20名を派遣	Abidjan	1982	⑧2 6,758 ⑧2 6,758	
仏-3-1	Assistance technique — 技術者94名, 技術指導者3名を派遣	Bouake Abidjan	1982	⑧2 5,017 ⑧2 5,017	
仏-3-2	Prêt sectoriel de développement rural — 農村開発	—	—	⑧2 20,743 ⑧2 20,743	有償 E/N締結1982 金利5% 償還15年 据置5年
仏-3-3	Prêt sectoriel de développement rural — 農村開発	—	—	⑧2 41,176 ⑧2 41,176	有償(非ODA) E/N締結1982 金利15.5% 償還15年 据置5年
仏-3-4	Projet forestier — 森林プロジェクト	—	—	⑧2 7,322 ⑧2 7,322	有償 E/N締結 金利5% 償還15年 据置5年
仏-4-1	Assistance technique — 技術者7名を派遣	—	1982	⑧2 290 ⑧2 290	
仏-4-2	Assistance technique — 技術者57名を派遣	—	1982	⑧2 2,363 ⑧2 2,363	
仏-5-1	Assistance technique — 技術者6名, 技術指導者3名を派遣	Abidjan	1982	⑧2 373 ⑧2 373	

フランス (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
仏-6-1	Assistance technique — 技術者8名, 技術指導者2,517 名を派遣	Abidjan Bouaké, Gagnoa, Korhogo, Man, Daloa, Yamoussoukro	1982	⑧ 104,687 ⑨ 104,687		
仏-6-2	Assistance technique — 技術者59名を派遣	Abidjan	1982	⑧ 2,446 ⑨ 2,446		
仏-6-3	Assistance technique — 技術者6名, 技術指導者107 名を派遣	Abidjan Yamoussoukro	1982	⑧ 4,685 ⑨ 4,685		
仏-7-1	Assistance technique — 技術者227名を派遣	Abidjan	1982	⑧ 9,411 ⑨ 9,411		
仏-7-2	Hydraulique urbaine et villageoise — 都市および村落の水供給	—	N/A	⑧ 7,895 ⑨ 7,895		有償 金利5% 償還15年 据置5年
仏-8-1	Assistance technique — 技術者32名, 技術指導者33名 を派遣	Abidjan	1982	⑧ 2,695 ⑨ 2,695		

西ドイツ

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
独-2-1	Extension du Port d'Abidjan — アビジャン港拡張	Abidjan	—	⑧ 15,094 ⑨ 15,094		有償 E/N締結1982 金利0.75% 償還50年 据置10年
独-3-1	Aménagement Agro-pastoral — 農・牧場の整備	—	—	⑧ 11,321 ⑨ 11,321		同 上
独-3-2	Développement de l'Élevage Bovin Paysan dans le Nord de la Côte d'Ivoire — 畜産を営む農民の研修, 保健 衛生, 商業化に援助	—	1981-85	⑧ 642 ⑨ 3,245	⑩	⑪
独-3-3	a) Centre d'Embouche Bovine, Ferkessédougou — 家畜の飼育, 農工業副産物の 価格安定, 食肉生産 b) Abattoir, Frigorifique Ferkessédougou — 家畜の屠殺・加工・冷凍保存 ・輸送, 商業化	Ferkes- a) sédougou b)	1976-85 1979-85	⑧ 642 ⑨ N/A	⑩	⑪

西ドイツ (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
独-3-4	Conseiller Technique au Ministère de la Production Animale — 畜産省のプロジェクトをコーディネート	Abidjan	1980-85	② 151 ③ N/A		
独-3-5	Laboratoire de Pathologie Animale, Korhogo — 家畜病理学研究所の獣医研修活動の能力を拡充	Korhogo	1979-85	② 302 ③ N/A		④ ⑤
独-3-6	Aménagements pastoraux au Nord de la Côte d'Ivoire — 北部地方の牛牧畜開発	--	1982-87	② 2,264 ③ 11,321		④ ⑤
独-4-1	Biogaz au Centre d'Embouche Bovine, Ferkessedougou (CEB) — 畜産センター (CEB) を援助。家畜排泄物からバイオガスを生産し、CEBと屠殺場の電気エネルギーを補給	Ferkessedougou	1981-83	② 189 ③ 491		④ ⑤
独-4-2	Expert en coopération industrielle auprès du Ministère du Plan et de l'Industrie — 計画・工業省に工業協力専門家を派遣	--	1975-84	② 377 ③ 1,766		④ ⑤
独-7-1	Adduction d'Eau Potable — 上水道プロジェクト	--	1975-84	② 5,660 ③ 5,660		有償 E/N締結1982 金利0.75% 償還50年 据置10年

カナダ

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
カー-2-1	FRAR (Fonds Régionaux d'Aménagement Rural-地方整備地域基金) — 建築などに専門家派遣	Man, Odiénné, Boundiali, Korhogo, Bondoukou, Bouna	1982-85	② 703 ③ 2,016		④ 6名
カー-4-1	Programme intercalaire de prospection minière — 鉱物探査プログラム	Abidjan, Man, Odienné	1978-84	② 288 ③ 3,120		有償 ④ ⑤
カー-4-2	EECI/4ème programme d'électrification rurale (Centres Araignées) — 第4次農村電化プログラム。変電所および送電線建設のための設備供与	--	1982-87	② 471 ③ 1,389 ④ 7,950 ⑤ 41,280		有償&無償 ④ ⑤
カー-4-3	Hydraulique Villageoise — 全国9,000カ所の井戸掘削に資金および技術援助	--	1976-84	② 598 ③ 2,280		有償

カナダ (続き)

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
カー6-1	Lycée Hôtelier (LPHA) — ホテル学校の設立および接客業施設での巡回研修	Abidjan	1974-85	82 812 総 8,880		無償 専 6名 研
カー6-2	Coopération Institutionnelle — 制度に協力。教授と専門家の交換	--	1982-84	82 54 総 1,026		無償
カー9-1	Contribution financière aux ONG (Organisation non-Gouvernementale- 非政府機関) — ONG に対する資金援助	--	1982-83	82 326 総 326		無償
カー9-2	Bourses du Québec — ケベック研修奨学金供与	--	1982	82 620 総 620		

## UNDP

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
U-1-1	Administration publique (UND TCD) — 公共行政の機構、管理の組織化に援助	Abidjan	1979-83	82 308 総 1,458		専 6名 研
U-2-1	Académie des Sciences et Techniques de la Mer (OMI*) — 海洋科学技術アカデミーに援助	--	1977-86	82 553 総 4,845		専 7名 コンサルタント
U-3-1	Ferme d'Élevage (Encadrement et Promotion des Fermes d'Élevage en Côte d'Ivoire- 畜産農場の研修・振興) (FAO) — 牛、羊飼育の専門家を派遣	Bouaké	1976-83	82 306 総 2,556		専 研 研
U-3-2	Production Animale- Ministère (FAO) — 家畜生産省の経済・行政、特別家畜飼育などの分野に技術援助	Abidjan	1980-83	82 300 総 1,034		専 研
U-4-1	Développement industriel (UNIDO) — 産業経済、エバリュエーション、農工業、テクノロジーなど産業開発分野に技術援助	Abidjan	1979-84	82 306 総 1,557		専 研

\* OMI-Organisation Maritime Internationale



**I B R D**

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
I-1-1	Structural Adjustment — 機構改善	—	1981-82	⑧ 150,000 ⑨ 150,000		
I-2-1	Télécommunications — 通信プロジェクト	—	1975-84	⑧ 2,120 ⑨ 17,400		
I-2-2	Highways V — ハイウェイ・プロジェクト	—	1975-82	⑧ 3,370 ⑨ 43,000		
I-2-3	Feeder Roads — フィーダー・ロード・プロジェクト	—	1978-84	⑧ 2,290 ⑨ 29,000		
I-2-4	Highway Sector — ハイウェイ・プロジェクト	—	1981-84	⑧ 14,110 ⑨ 100,000		
I-2-5	Urban II — 都市開発	—	1982-85	⑧ — ⑨ 51,000		
I-3-1	SAPH (Société Africaine de Plantations d'Hévéas—パラゴム・ プランテーション・アフリカ社) Rubber IV — ゴム・プロジェクト	—	1979-84	⑧ 1,590 ⑨ 7,600		
I-3-2	Forestry — 森林開発	—	1980-85	⑧ 2,350 ⑨ 18,000		
I-3-3	N. E. Rural Development — 北東部の農村開発	—	1980-85	⑧ 96 ⑨ 9,400		
I-3-4	Grand Bereby-Rubber II — ゴム・プロジェクト	—	1980-85	⑧ 3,070 ⑨ 20,000		
I-4-1	Tourism II — 観光に援助	—	1980-84	⑧ 2,510 ⑨ 14,200		
I-4-2	Small/Medium Scale Enterprise — 小・中規模企業に援助	—	1979-84	⑧ 1,280 ⑨ 12,600		
I-4-3	Small Scale Enterprise — 小規模企業に援助	—	1976-82	⑧ 470 ⑨ 4,570		

## IBRD (続き)

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
I-4-4	Power I — 発電プロジェクト	—	1982-86	⑧ 650 ⑨ 33,000		
I-4-5	Oil Exploration — 石油開発		1982-86	⑧ 15,610 ⑨ 101,500		
I-4-6	BIDI (Banque Ivoirienne de Développement Industriel- 工業開発イヴォアール銀行)		1976-84	⑧ 620 ⑨ 8,000		
I-6-1	Education III — 教育		1980-85	⑧ 3,380 ⑨ 24,000		
I-7-1	Abidjan Sewerage II — 下水設備	Abidjan	1979-84	⑧ 7,220 ⑨ 33,000		
I-7-2	Secondary Centers Water Supply — 第2給水センターの設立	—	1978-83	⑧ 940 ⑨ 16,000		

## その他

番 号	プロジェクト名・概要	サイト	期 間	(千ドル)		備 考
				供与金額		
そ-2-1	Construction d'un navire destiné à la STRAM — SITRAMI (イヴォアール海 上輸送社) に援助	Abidjan	—	⑧ N/A ⑨ 3,390		オランダ 有償 E/N締結不明 金利2.25% 償還30年据置8年
そ-2-2	Télécommunications Plateau III — 10,000 ラインのテレフォン・ センター設立。ケーブルによ る地方通信網設置。電話器 10,000 台、部品などの供与	Abidjan	—	⑧ 10,568 ⑨ 10,568		AIDB 有償(非ODA) E/N締結1982 金利7% 償還10年据置5年
そ-2-3	Prêt à l'Office des Postes et Télécommunications pour le financement partiel du projet d'extension et de modernisation du réseau de câbles téléphoniques d'Abidjan — 通信ケーブル網の拡張・近代 化プロジェクト	Abidjan	—	⑧ 3,406 ⑨ 3,406		BOAD (西アフリ カ開発銀行) 有償(非ODA) E/N締結1982 金利11% 償還12年据置2年
そ-2-4	Construction de logements à loyers modérés — 中級賃貸住宅建設	Abidjan, Yopougou, Dimbokro	—	⑧ 29,333 (付) 587 ⑨ N/A		ノルウェー 有償&無償
そ-2-5	Ivory Coast Interior Cities - Shelter Development Project — 内陸都市13カ所のシェルター 開発	—	13 Cities	⑧ 20,000 ⑨ 20,000		アメリカ 有償(非ODA) 金利12.2% 償還30年据置10年

その他(続き)

番号	プロジェクト名・概要	サイト	期間	(千ドル)		備考
				供与金額		
そ-3-1	STABEX Café (5ème FED) — コーヒーのスタベックス(輸出所得安定化制度)に援助	--	--	⑧ 29,396 ⑨ 29,396		EEC 無償 E/N締結1982
そ-3-2	Développement agricole — カカオ, コーヒー, パラゴムなどの開発	--	--	⑧ N/A ⑨ 1,700		イギリス 有償 条件不明
そ-4-1	I VOINORI-Deuxième phase du projet EECI d'électrification rurale dans l'Est ainsi que des lignes de haute tension — 第2次東部農村電化, 高圧線 EECI(電気エネルギー)プロジェクト	--	--	⑧ 25,641 ⑨ 25,641		スペイン 有償 E/N締結1982 金利不明 償還10年
そ-4-2	Ligne de crédit à la BIDI pour le financement partiel des projets de petites et moyennes industries — 中小企業プロジェクトに融資	Abidjan	--	⑧ 3,096 ⑨ 3,096		BOAD 有償(非ODA) E/N締結1982 金利7.5% 償還11年据置3年
そ-6-1	Personnel enseignant dans les C. E. G. de l'intérieur (Sciences et mathématiques) — 中学・高等学校の科学・数学教育スタッフ派遣	Abidjan	1982	⑧ 648 ⑨ 648		ベルギー ⑤ 15名
そ-7-1	Strengthening of Health Delivery Systems — 保健サービスシステムの強化。流行病・免疫研修プログラムに衛生設備を供与	--	1977-85	⑧ 4,000 ⑨ N/A		アメリカ ⑦
そ-7-2	Combatting Childhood Communicable Diseases — 小児伝染病対策。免疫処置, 病気の調査。地方の予防接種活動に援助	--	1979-88	⑧ 23,000 ⑨ N/A		アメリカ
そ-7-3	Hydraulique Villageoise et Pastorale — 農村の水利開発などに援助	--	--	⑧ N/A ⑨ 3,715		CEAO*/IBRD 有償(非ODA) E/N締結不明 金利11.6% 償還17年据置4年

\*CEAO-Communauté Économique de l'Afrique de l'Ouest (西アフリカ経済共同体)

# 4 我が国の経済・技術協力実施状況

## 4-1 我が国の対象牙海岸援助の特徴

我が国は、象牙海岸共和国が1960年8月、フランスから独立すると同時に承認し、64年2月、大使館を開設した。その後79年4月に、園田外相（当時）が、同国を訪問したが、その間両国の関係は、特に大きな案件もなく現在に至っている。

象牙海岸の対外貿易額は、旧宗主国であるフランスに3分の1を依存したものであるが、80年をピークに減少傾向にあり、82年では輸出入総額で4,535百万ドルと80年実績の74%となっている。我が国との貿易については、78年をピークにやはり減少傾向であり、我が国の輸出額がほぼ一定であるのに比べ、象牙海岸の輸入の減少が目立つ。しかし、貿易収支は依然我が国の出超状態である。我が国との貿易額は近年、同国の輸出入総額の2～3%台で推移しており、フランスを始めとする西欧諸国と比べ、低い水準である。輸出品目は、我が国からは主に工業製品、象牙海岸からは、コーヒー、綿花などである。

我が国の象牙海岸に対するODAは、70年代を通して0.1～0.4百万ドルの低い水準であり、近年、増加傾向にあるが、82年実績でODA総額の1.3%を占めるにすぎない。援助形態では、技術協力を主とした無償協力が多いが、今後、有償、無償を含めた我が国への経済・技術援助が期待されている。

S.56～58年度（81～83年）の我が国の象牙海岸に対する協力案件は4件と少なく、人的資源分野（6）で2件、公共・公益事業分野（2）、鉱工業・エネルギー分野（4）で、各1件である。

図-12 象牙海岸における我が国ODAのシェア

年	我が国の援助額のシェア	象牙海岸に対するODA総額
1974	0.4百万ドル (0.5%)	76.0百万ドル
76	0.2 (0.2%)	108.2
78	0.3 (0.2%)	131.4
80	0.2 (0.1%)	210.3
82	1.8 (1.3%)	136.8

図-13 我が国のODA総額に占める象牙海岸のシェア

年	我が国のODA総額	象牙海岸のシェア
1974	1.126百万ドル	0.04%
76	1.105	0.02%
78	2.215	0.01%
80	3.303	0.01%
82	3.023	0.06%

出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES  
OECD/1984

このうち、S. 57年には、道路補修計画（2）に50億円の有償資金協力援助についての交換公文を締結し、また、アビジョン海洋科学技術学校に対する無償協力などが、主な案件としてあげられる。

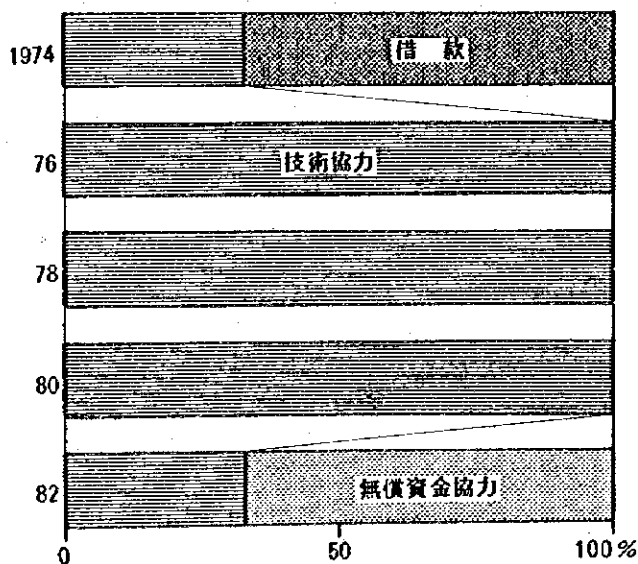
表一 7 我が国の象牙海岸に対する経済技術協力実績

	～昭和56年度 (累積)	昭和57年度	58年度 (12月末実績)
● 技 術 協 力			
一 経 費	199百万円	38百万円	31百万円(計画)
一 研修員受入	27人	4人	6人
一 専門家派遣	4人	1人	1人
一 単独機材供与	37百万円	21百万円	—百万円(計画)
一 青年海外協力隊	—	—	—
一 開発調査	2件	—	—
一 海外開発計画調査	2件	—	—
一 プロジェクト方式技術協力	—	—	—
● 無 償 資 金 協 力	1,000百万円	—	—
● 有 償 資 金 協 力	—	5,000百万円 (1件)	—

(出典：JICA ファクトシート)

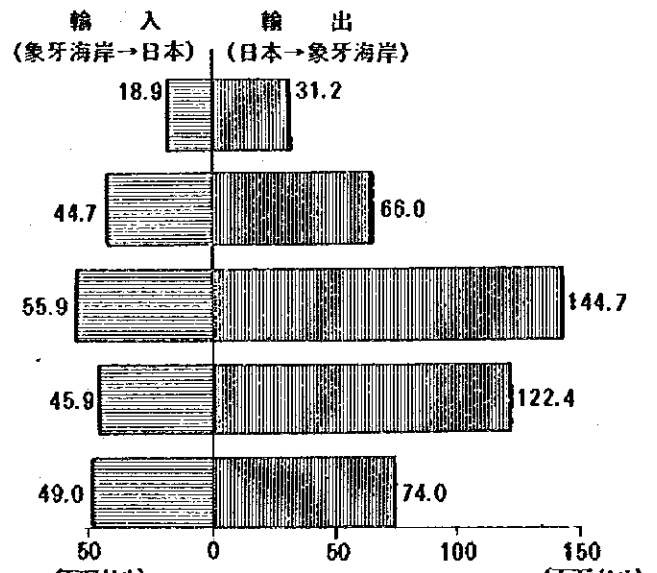
注) 無償資金協力・有償資金協力とも交換公文ベースである。

図- 14 我が国の対象象牙海岸ODAにおける形態別配分の推移



出典：GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS TO DEVELOPING COUNTRIES OECD/1978, 82, 84)

図- 15 我が国と象牙海岸の貿易額推移 (単位：百万ドル)



(出典：通商白書 昭和58年版)

図-16 我が国の経済・技術協力プロジェクトの所在図  
(1981～83年)

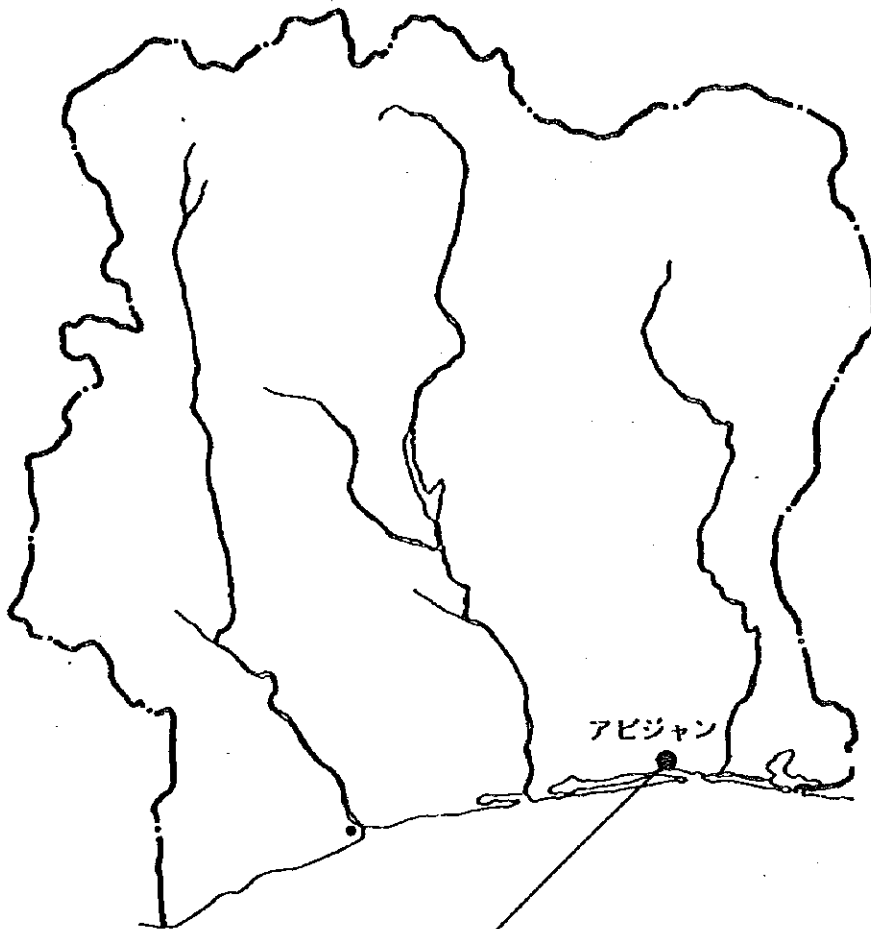
凡例

- 開発調査
- プロジェクト方式技術協力
- 無償資金協力
- 有償資金協力

● 広域プロジェクト等

- 2-1 道路補修計画
- 4-1 アフリカ・中近東諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査

注) 各プロジェクトの番号は後述のプロジェクトリストに対応している。



- 6-1 アビジャン大学バイオマス海洋科学技術学校
- 6-2 アビジャン海洋科学技術学校

## 4-2 分野別経済・技術協力実施状況（表-8）

- 凡 例 1)  で案件の実施年度を示し方式を記入した。期間が長期に渡り 53～58 年度を越える場合  又は  で案件の継続を示す。
- 2) 実績欄に示す金額は、各年度毎の実績額とし 56, 57, 58 年度の実績額を集計をした。55 年度以前の金額については、( ) 内に単年度又は累計の金額として示した。

開 調 開発調査  
 海 開 海外開発計画調査  
 資 開 資源開発基礎調査

無 償 無償資金協力  
 (一 般) 一般無償援助  
 (水 産) 水産関係援助  
 (文 化) 文化関係援助  
 (災 害) 災害関係援助  
 (食 糧) 食糧援助  
 (食 増) 食糧増産援助

プロ技協 プロジェクト方式技術協力  
 ・――で機材供与を示し 53—58 年度を越え継続する場合 ←・――で示した。又、各年度の派遣専門家の人数を ( ) 内に入れた。

有 償 有償資金協力（政府直接借款）  
 ※有償条件の記述は以下の順である。

（金利 償還期間（据置期間）  
 調達条件  
 外貨分所要資金  
 内貨分所要資金） 総所要資金

E / N 交換公文

### 1. 計 画・行 政

### 2. 公 共・公 益 事 業

プロジェクト名	サイト	年 度						実 績
		53	54	55	56	57	58	
2-1 道路補修計画						有償		5,000,000
――道路の維持補修作業増強のための建設機械、車両等の調達						E/N	57.9.22	
条件：4.25% 25年（7年）								
LDCアタンド								
外貨 5,000 百万円								
内貨 —								

### 3. 農 林・水 産

#### 4. 鉱工業・エネルギー

4-1	アフリカ中近東諸国鉱工業プロジェクト選定確認調査 —アフリカ、中近東における鉱工業関係の開発プロジェクトの選定確認。チュニジア、アルジェリア、セネガルを含む					海関	8,928

#### 5. 商業・観光

#### 6. 人的資源

	プロジェクト名	サイト	年 度					実 績	(千円)			
			53	54	55	56	57			58		
6-1	アビジャン大学バイオマス研究機材 —アビジャン大学新エネルギー研究所の農産加工廃棄物利用研究のための研究機材供与	アビジャン					(文化)	無償	50,000			
							E/N	58.5.31				
6-2	アビジャン海洋科学技術学校 —仏語圏の西部、中央アフリカ諸国の学生を対象として海運技術振興を図るために設立	アビジャン			開調				(22,497)			
					(一般)				無償	E/N	55.7.28	(600,000)
					(一般)				無償	E/N	56.7.11	400,000

#### 7. 保健医療

#### 8. 社会福祉

#### 9. その他



## 図表リスト

- 図-1 象牙海岸の概要図 / 2
- 図-2 国家予算内訳 / 4
- 図-3 援助主体別 ODA 推移 / 6
- 図-4 援助形態別 ODA 推移 / 6
- 図-5 主要援助国・国際機関別 ODA 推移 / 6
- 図-6 主要援助国・国際機関による対象象牙海岸政府開発援助 (ODA) の実績 / 7
- 図-7 援助形態にみる主要援助国・国際機関の特徴 / 9
- 図-8 援助分野にみる主要援助国・国際機関の特徴 / 10
- 図-9 国別・国際機関別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 / 13
- 図-10 主要経済・技術協力プロジェクトの所在全体図 / 15
- 図-11 分野別にみた主要経済・技術協力プロジェクトの所在図 / 15
- 図-12 象牙海岸における我が国の ODA のシェア / 23
- 図-13 我が国の ODA 総額に占める象牙海岸のシェア / 23
- 図-14 我が国の対象象牙海岸における形態別配分の推移 / 24
- 図-15 我が国と象牙海岸の貿易額推移 / 24
- 図-16 我が国の経済・技術協力プロジェクトの所在図 / 25

- 表-1 GDP年平均成長率目標 / 3
- 表-2 国家予算 / 4
- 表-3 1981年対象象牙海岸政府開発援助 (ODA) 実績総括表 / 8
- 表-4 1982年対象象牙海岸政府開発援助 (ODA) 実績総括表 / 8
- 表-5 主要援助国・国際機関別援助の特徴 / 11・12
- 表-6 主要経済・技術協力プロジェクト概要 / 16
- 表-7 我が国の経済・技術協力実績表 / 24
- 表-8 我が国の経済・技術協力プロジェクトの概要 / 26

### 参 考 資 料

1. Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1978 / 82 / 84 ; OECD
2. Rapport sur la Cooperation au Developpment en Republique de Cote Divoire 1982 ; UNDP, Abidjan (1984, Jan.)
3. 世界開発報告, 1983 ; 世界銀行
4. わが外交の近況, 1983 ; 外務省
5. アフリカ諸国要覧, 1983年10月 ; 外務省
6. 国際協力ハンドブック ; 国際協力研究会
7. 国際協力事業団年報, 1977~1983 ; 国際協力事業団
8. 経済協力の現状と問題点, 1982 ; 通産省
10. 案件概要 (I) 政府等貸付, 昭和58年7月末現在 ; 海外経済協力基金

① 分野区分対照表

No.	JICA SECTOR	UNDP SECTOR
1.	<b>計画・行政</b> 開発計画 行政	02 - General development issues, policy and planning  Development strategies policies and planning General statistics Public administration
2.	<b>公共・公益事業</b>  公益事業 運輸交通 社会基盤 通信・放送	06 - Transport and Communications  Policy and planning Air transport Land transport Water transport and shipping Postal services Telecommunications  09 - Human settlements  Settlements planning Housing and infrastructure
3.	<b>農林・水産</b>  農業 畜産 林業 水産	04 - Agriculture, forestry and fisheries  Agricultural development support service Crops Livestock Fisheries Forestry
4.	<b>鉱工業</b>  工業 鉱業 エネルギー	03 - Natural resources  Cartography Land and water Mineral resources Biological resources Energy  05 - Industry  Industrial development support services Manufacturing industries Tourism and related services Other service industries
5.	<b>商業・観光</b>  商業・貿易 観光	07 - International trade and development finance  Global trade policies Trade in commodities Trade in manufactures Trade promotion and trade in services Development finance and monetary problems

No.	JICA SECTOR	UNDP SECTOR
6.	<b>人的資源</b> 人的資源 科学・文化	11 - Education Educational policy and planning Educational facilities and technology Educational systems Non-formal education  15 - Culture Cultural preservations and development Protection of authors and performers Communication and mass media  16 - Science and technology Promotion of science Development and transfer of technology Oceanography Meteorology
7.	<b>保健・医療</b>	08 - Population Population dynamics Family planning  10 - Health Comprehensive health services Disease prevention and control Environmental health
8.	<b>社会福祉</b>	12 - Employment Employment promotion and planning Skills development Conditions of employment Industrial relations  13 - Humanitarian aid and relief Protection of and assistance to refugees and displaced persons Disaster, relief preparedness and prevention Special humanitarian operation  14 - Social conditions and equity Human rights Social sciences Welfare and social security Advancement of women Disadvantaged groups Prevention of crime and drug abuse
9.	<b>その他</b>	01 - Political affairs Political and security activities Special missions Disarmament General international law Trusteeship, decolonization and apartheid

○象牙海岸共和国

---

JICA